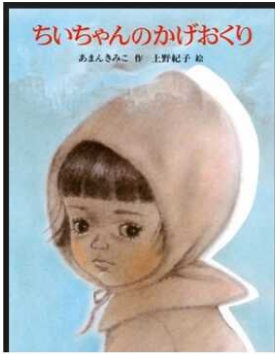


子ども達の豊かな成長・発達のために皆で力を合わせましょう！

## 戦後71年 子どもたちと いっしょに読みたい戦争文学作品



『ちいちゃんのかげおくり』 (あまみきみこ)

『ぞうれっしやう』は教科書教材ではありませんが、合唱組曲になって学習発表会などで演じられています。



『かわいそうなぞう』 (土屋由岐雄)  
\*『ぞうれっしやがやってきた』 (小出隆二)

2学期が始まりました。この夏も、テレビなどで戦争についての番組がありました。直接戦争を体験したことのない国民が8割をこえたと報道されました。悲惨な空襲体験、戦中戦後の悲惨な体験、原爆被爆体験、戦場での地獄のような体験をした人たち少なくなって、戦争をリアルに知ることが、今こそ大切になっています。国語の教科書には戦争文学作品が掲載されています。しかし、今は、以前ほど戦争平和についての作品が掲載されていません。平和が当たり前になっている今こそ、子どもたちといっしょに平和・戦争に関する文学作品を読んでみませんか。現在または、かつて教科書に掲載されていたものを中心に紹介します。  
\*は教科書掲載でない作品

昨年、映画化もされています。



『おかあさんの木』 (大川悦生)

豊中の使用する教科書にも掲載されている作品。5社中4社が今も掲載。



『一つの花』 (今西祐行)



『村一番のさくらの木』 (来栖良夫)



『おこりじぞう』 (山口勇子)



『チロヌツプのきつね』 (高橋宏幸)

